

補稿 2 で、「人間」を認識する前に、「頭」、「胴体」、「手」、「足」を認識する段階がある
としました。もっと抽象的にすれば、「円」、「直線」、「三角」、「四角」、「コーナー」、「帯」、
「曲線」とかいろいろ考えられます。重みを、それらの単系要素に如何に近いかを定める
方法として使用するのです。

前には、「円」などの図形要素は、解析で判定するかなと思っていたのですが、やはり、
どの図形要素に近いかという分散する評価のため、ニューロコンピュータで実現した方が
よいかないと考え始めています。

おわり